



マルカキカイ株式会社

# 第71期 中間報告書

平成28年12月1日 ▶ 平成29年5月31日

# 日米中亜4極体制 マルカグローバル イノベーション 新たな創造更なる飛躍



取締役会長 釜江 信次

取締役社長 竹下 敏章

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

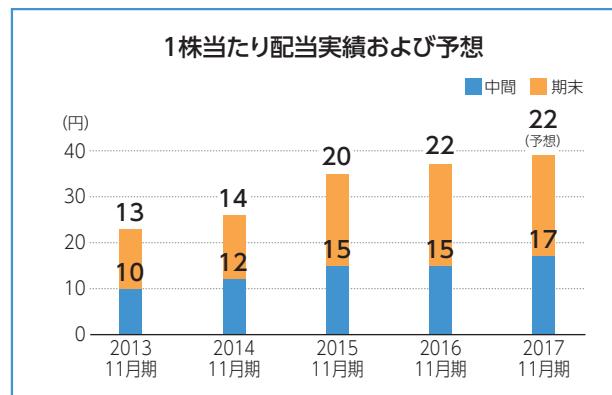
さて、当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による各種政策により雇用所得情勢が堅調に推移していることを受けて個人消費が持ち直し、企業収益も改善傾向にあるなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。しかし一方で、原油価格の下落一服、年初来の円高による輸出伸び悩み、そして海外の政治動向に対する根強い不透明感により、設備投資に対して慎重な動きとなりました。

海外では、アメリカ経済は景気拡大基調が継続している一方で、英国のEU離脱問題や、中国経済の成長鈍化、アジア新興国経済の景気減速等による景気の下押し懸念が続く情勢であり、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、「日米中亜4極体制 マルカグローバルイノベーション 新たな創造更なる飛躍」を今年度のテーマに、中期経営計画の各種施策に取り組んでおります。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は24,668百万円（前年同期比0.9%増）、営業利益は823百万円（同14.8%減）、経常利益は円安の影響で為替差損が減少したことにより958百万円（同4.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は613百万円（同7.2%増）となり、売上高をはじめ、利益面においても当初計画どおり推移いたしました。

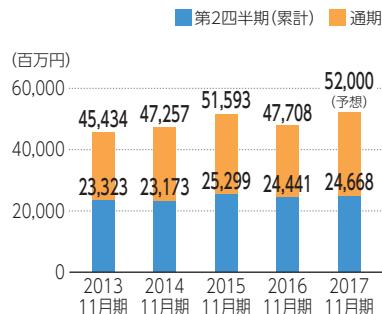
株主の皆様におかれましては、今後とも当社グループへのご支援ご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。



## 売上高

24,668百万円

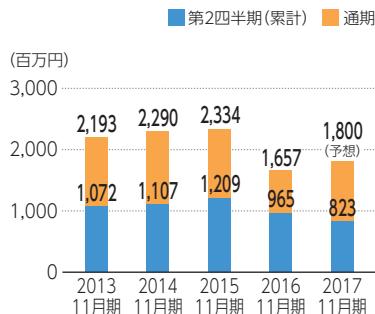
前年同期比 0.9%増



## 営業利益

823百万円

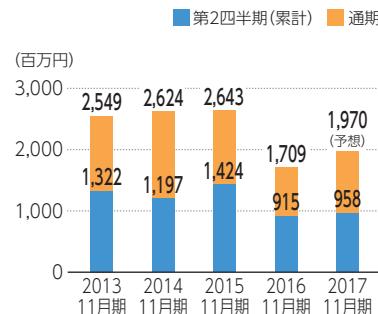
前年同期比 14.8%減



## 経常利益

958百万円

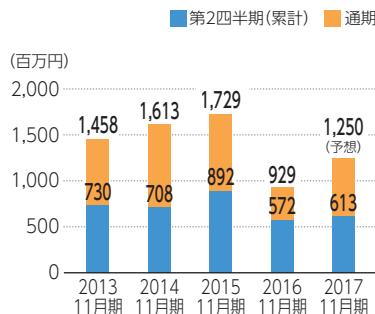
前年同期比 4.7%増



## 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

613百万円

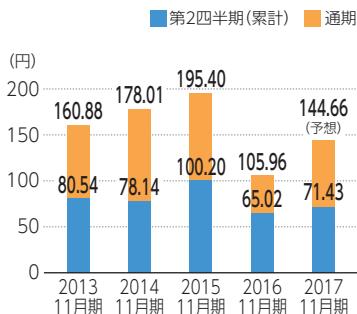
前年同期比 7.2%増



## 1株当たり四半期(当期)純利益

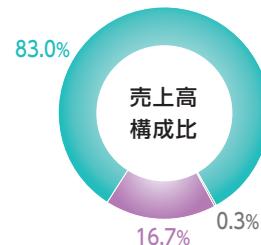
71.43円

前年同期比 9.9%増



## 部門別売上高

産業機械部門	20,483百万円
建設機械部門	4,124百万円
その他の事業部門	61百万円



## 特集 | マルカキカイのグローバルネットワーク ②東南アジア・インド

★1959年のタイ進出を皮切りとした海外進出による実績と経験により、日系進出企業様の海外展開を強力にサポートして参ります。

★日系企業を中心に、産業機械・工作機械の直接販売を行っており、三国間貿易にも対応しております。

### 1 マルカ・タイ (バンコク、ピントン)

バンコクとピントンの二拠点体制により、アジア地域の最重要拠点としてアジア全体の事業統括を担っております。

### 2 マルカ・エクスポート・タイ (ピントン)

自動車部品等の調達・輸出版売事業を行っており、自動車部品に特化した事業展開を行っております。

### 3 マルカ・インドネシア (ジャカルタ)

2014年より開始したサービスエンジニアリング機能の活用により、部品・サービス事業の拡大を図っております。

### 4 マルカ・マレーシア (クアラルンプール)

経験豊富な外国人幹部を登用しており、経営の現地化に向けた先駆けとして、地場企業との取引開拓を図っております。

### 5 マルカ・フィリピン (マニラ)

タイ同様、半世紀を超える実績と経験を生かし、様々なお客様のニーズにお応えしております。

### 6 マルカ・ベトナム (ハノイ)

ハノイとホーチミンの二拠点体制により、日系企業様のサポート体制の強化を図っております。

### 7 マルカ・インド (デリー)

自動車業界向けに各種産業機械を販売しております。設立10年目を迎え、更なる業績拡大を目指しております。



★各拠点にサービス人員を配置し、商品販売に加え部品・消耗品も取り扱っており、アフターサービス体制も充実しています。特にタイ・インドネシアでは自社にてサービス工場を設置し、より一層のサービス体制の充実を図り、安定的収益事業の構築に取り組んでおります。

#### ●マルカ・タイ (ピントン)

2015年9月にサービスメンテナンス工場を設置



#### ●マルカ・インドネシア (ジャカルタ)

2014年6月にサービスエンジニアリング工場を設置



## 産業機械部門

産業機械部門では、国内販売は引き続き受注が増加傾向にありましたが、売上転化まで時間がかかることから前年同期に比べ売上が落ち込む結果となりました。

米州はここまで伸び悩んでいた工作機械の販売が自動車業界を中心に好調に推移いたしました。中国およびアジア地域は、景気減速の影響等により依然として設備投資意欲が横ばいの地域もある中、マレーシアでは自動車業界向けの部品販売事業が好調でした。またインドネシアでは自動車業界向けで工作機械の販売が伸長するなど、一部地域は回復傾向にありました。



## 建設機械部門

建設機械部門では、公共投資が緩やかな回復傾向を継続していますが、民間の建設投資や復興事業に一服感が見られるなど、全体として厳しい状況が続いております。このような状況の中、主力のクレーンの販売が基礎業界を中心に大きく落ち込みました。



## Topics

国内グループ会社2社は本社を移転いたしました。

### ■ ジャパンレンタル株式会社

2016年10月 車庫スペース確保のため、新社屋を建設。更に充実した車輛を取り揃え、業績拡大を図って参ります。  
新住所：〒210-0813 川崎市川崎区昭和2-13-3

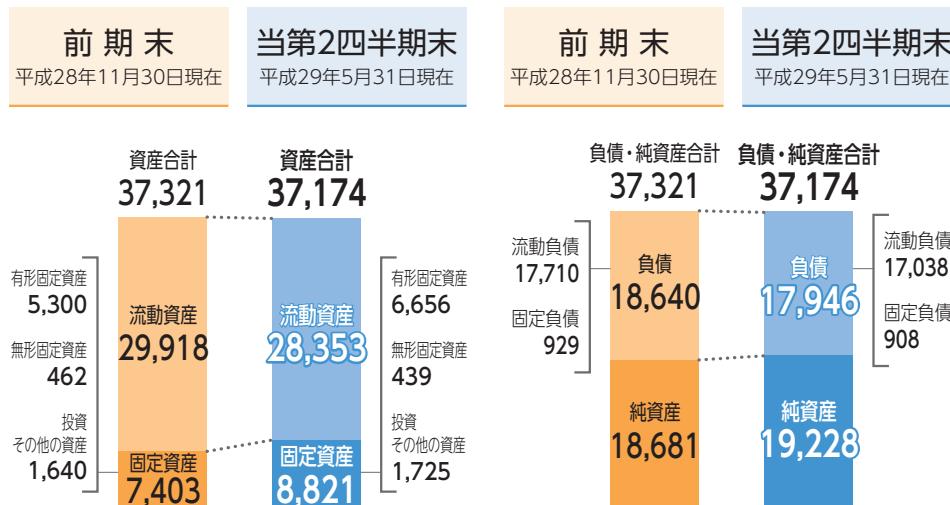


### ■ 株式会社管製作所

2017年5月 生産性を高めるため新工場・事務所を建設。更なるエンジニアリング事業の基盤拡大を図って参ります。  
新住所：〒994-0054 山形県天童市荒谷堂ノ前1000-28



四半期連結貸借対照表のポイント (単位：百万円)



Point

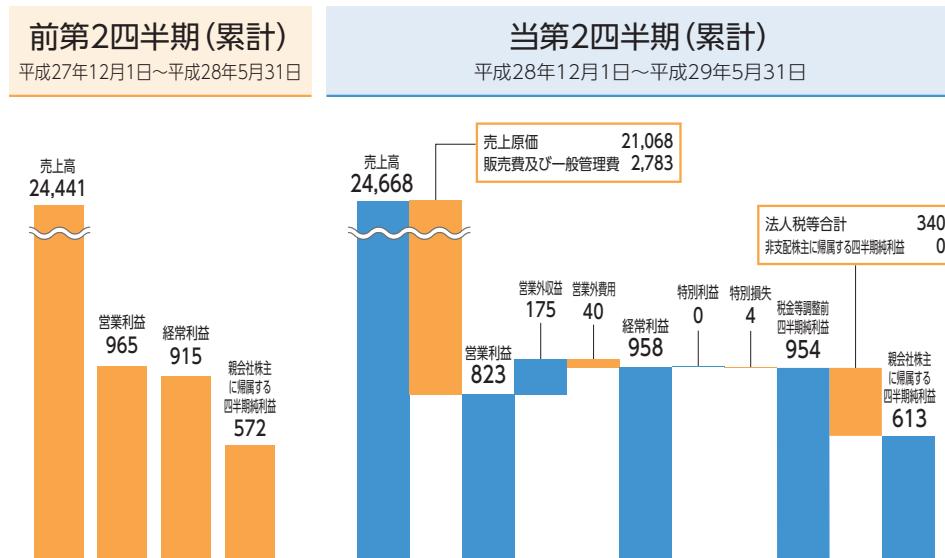
流動資産の状況

前期末比1,564百万円減少し、28,353百万円となりました。これは売掛金が1,496百万円減少したこと等によるものです。

固定資産の状況

前期末比1,417百万円増加し、8,821百万円となりました。これは有形固定資産が1,355百万円増加したこと等によるものです。

四半期連結損益計算書のポイント (単位：百万円)



Point

営業利益の状況

売上総利益の減少に加え、販売費及び一般管理費が前年同期比78百万円増加したため、営業利益は前年同期比14.8%減少し823百万円となりました。

経常利益の状況

営業外収益が前年同期比65百万円増加し、営業外費用が前年同期比120百万円減少したため、経常利益は前年同期比4.7%増加し958百万円となりました。

\* 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 株式の状況 & 会社概要

## 株式の状況 (平成29年5月31日現在)

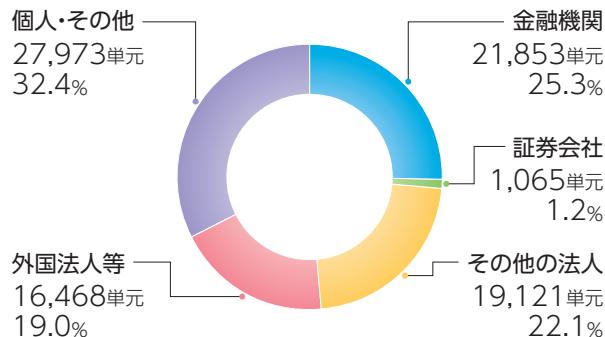
発行可能株式総数	33,600,000株
発行済株式の総数	9,327,700株
株主数	5,957名
単元株式数	100株

## 大株主(上位10名)の状況 (平成29年5月31日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
コベルコ建機株式会社	594,000	6.9
株式会社不二越	576,000	6.7
あいおいニッセイ同和損害保険株式会社	400,000	4.6
株式会社りそな銀行	350,000	4.0
株式会社みずほ銀行	328,000	3.8
GOLDMAN, SACHS & CO. REG	258,250	3.0
株式会社三菱東京UFJ銀行	255,000	2.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	254,200	2.9
HORIZON GROWTH FUND DIRECTOR HOARE PADRAIG	235,900	2.7
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	218,500	2.5

(注) 持株比率は自己株式(676,881株)を控除して算出し、小数点以下第2位を四捨五入して計算しております。また、自己株式は上位10名から除いております。

## 所有者別株式分布状況 (平成29年5月31日現在)



## 会社概要 (平成29年5月31日現在)

商号	マルカカイ株式会社 MARUKA MACHINERY CO.,LTD.
設立	昭和21年(1946年)12月16日
本社所在地	〒567-8520 大阪府茨木市五日市緑町2番28号 TEL.072-625-6551 FAX.072-625-6558 インターネットホームページ <a href="http://www.maruka.co.jp/">http://www.maruka.co.jp/</a>
主な事業内容	機械専門商社として産業機械、 建設機械の国内販売および輸出入
資本金	14億1,441万円
従業員数	連結 592名、単独 180名

## 役員 (平成29年5月31日現在)

代表取締役会長	釜江信次
代表取締役社長兼最高経営責任者(CEO)	竹下敏章
取締役兼専務執行役員	二橋春久
取締役兼常務執行役員	真鍋聡
取締役兼執行役員	難波経久
取締役兼執行役員	飯田邦彦
※ 取締役	泉信介
※ 取締役	長崎伸郎
常勤監査役	荻野純一
常勤監査役	杉浦克典
※ 監査役	古澤哲
※ 監査役	牛島慶太
執行役員	砂河利文
執行役員	黒澤淳一
執行役員	神田晃三
執行役員	谷口徹

上記※は、社外取締役および社外監査役であります。

## 株主メモ

事業年度	12月1日から翌年11月30日まで
期末配当受領株主確定日	11月30日
中間配当受領株主確定日	5月31日
定時株主総会	2月
基準日	定時株主総会については 11月30日 (その他必要あるときは予め公告する一定の日。)
株主名簿管理人 (兼 特別口座の口座管理機関)	三菱UFJ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所 (兼 特別口座の口座管理機関連絡先)	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
各種お問合せ	電話 0120-094-777 (通話料無料) ※証券会社等に口座をお持ちの株主さまのお手続きについては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。なお返戻郵便物、未払配当金等のお問合せについては、上記株主名簿管理人にお問合せください。 ※特別口座に記録された株式関係のお手續用紙のご請求は次の電話番号およびインターネットで24時間承っております。 手續用紙請求電話 0120-244-479 (通話料無料) (本店証券代行部) 0120-684-479 (通話料無料) (大阪証券代行部) インターネット <a href="http://www.tr.mufj.jp/daikou/">http://www.tr.mufj.jp/daikou/</a>
公告方法	電子公告 (当社ホームページをご覧ください) <a href="http://www.maruka.co.jp/">http://www.maruka.co.jp/</a> なお、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載します。
上場証券取引所	株式会社東京証券取引所 市場第1部

## 株主優待 のご案内



100株以上500株未満保有の株主さま  
1,000円相当のグルメセット



500株以上1,000株未満保有の株主さま  
2,000円相当のグルメセット



1,000株以上保有の株主さま  
3,000円相当のグルメギフト券

※写真は優待商品の一例です。



マルカキカイ 株式会社

<http://www.maruka.co.jp/>

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。